

ソフトバンクグループ（日足）

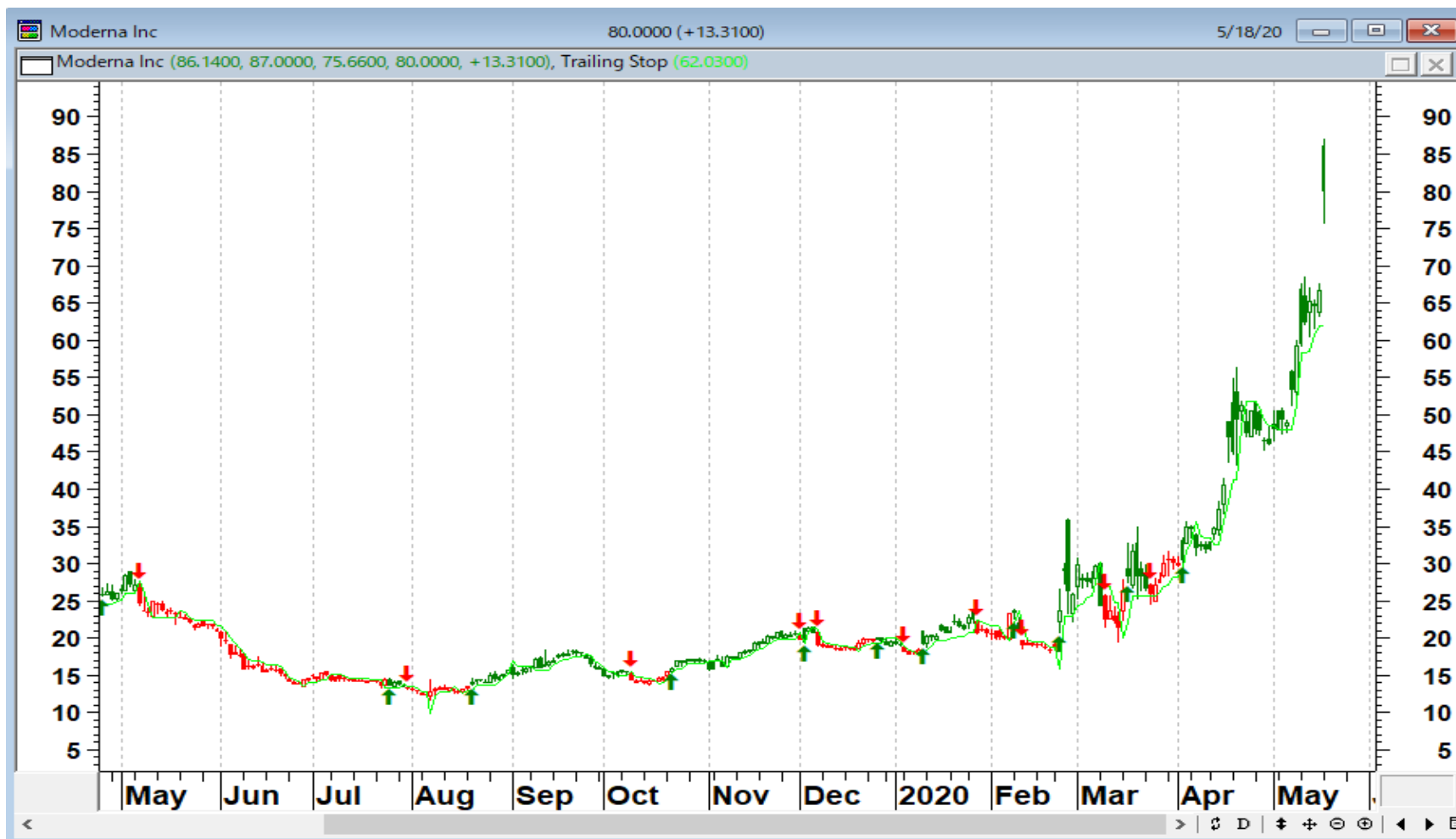
グローバル化とファイナンス化は、拡大が止まると死ぬということが十分に理解されていない。

サメが前方に泳ぐのをやめると死ぬのと同じように、グローバル化とファイナンス化はその拡大が止まると死んでしまう。その実行可能性は拡大に依存するからだ。



Moderna Inc (日足)

ワクチン報道で時価総額300億ドル フェーズ1の結果良好で増資へ
売上6020万ドル 純損失5億1400万ドル



株式市場は明確にリーマン・ショック後の上昇トレンドの大天井を打った。次の焦点は、1930年の繰り返しになるかだ。

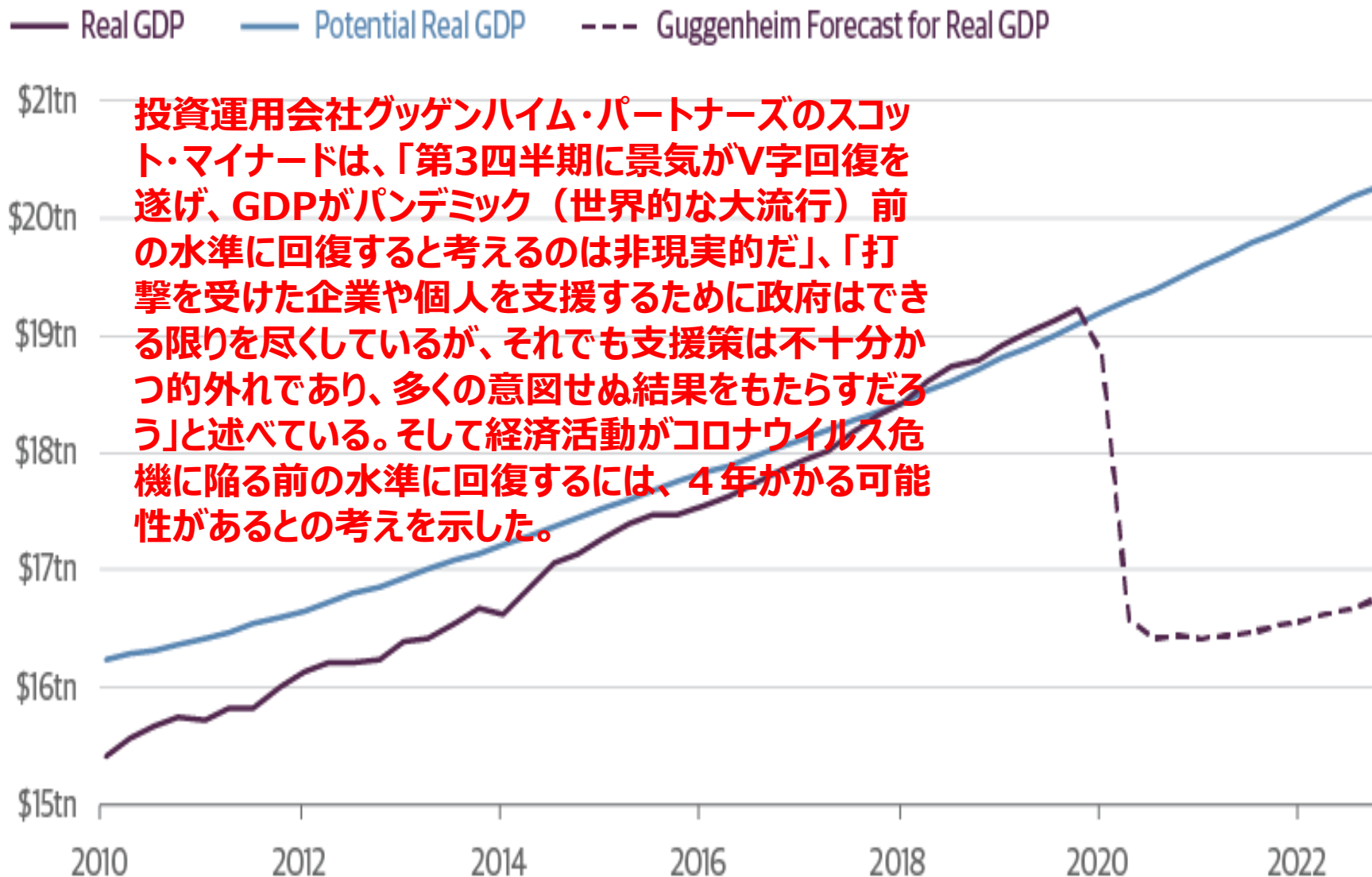
グッゲンハイムパートナーズのCEOスコット・マイナードは、「株式市場は明確にリーマン・ショック後の上昇トレンドの大天井を打った。次の焦点は、1930年の繰り返しになるかだ」と、ツイートした。

「投資運用会社グッゲンハイム・インベストメンツのスコット・マイナード最高投資責任者（CIO）は、S & P 500種株価指数の上昇は持続不可能であり、下落局面に入った際には1200まで低下する可能性がある」と語った。

マイナード氏は17日のパネルで、「数週間前にリバランスを行い、債券から株式に資金を移していま様子見している投資家は、恐らくまたリバランスを考えたほうが良いだろう」と語った。S & P 500種はこの先「1500や1600、または1200を付ける可能性がある」という。現在の米株式相場は「流動性のみに支えられている」との見方も示した。

（4月18日 ブルームバーグ 「S & P 500種、1200まで下げる可能性ーグッゲンハイムのマイナード氏」）

経済のV字回復は起こりそうもない



投資運用会社グッゲンハイム・パートナーズのスコット・マイナードは、「第3四半期に景気がV字回復を遂げ、GDPがパンデミック（世界的な大流行）前の水準に回復すると考えるのは非現実的だ」、「打撃を受けた企業や個人を支援するために政府はできる限りを尽くしているが、それでも支援策は不十分かつ的外れであり、多くの意図せぬ結果をもたらすだろう」と述べている。そして経済活動がコロナウイルス危機に陥る前の水準に回復するには、4年かかる可能性があるとの考えを示した。

ドラッケンミラー氏、株のリスク・リターンは 職業人生の中で最悪（5月13日ブルームバーグ）

説的ヘッジファンド運用者のスタン・ドラッケンミラー氏は、米経済のV字回復見通しを「空想」だと述べ、株式のリスク・リターン計算はこれまでの職業人生で見た中で最悪だと語った。

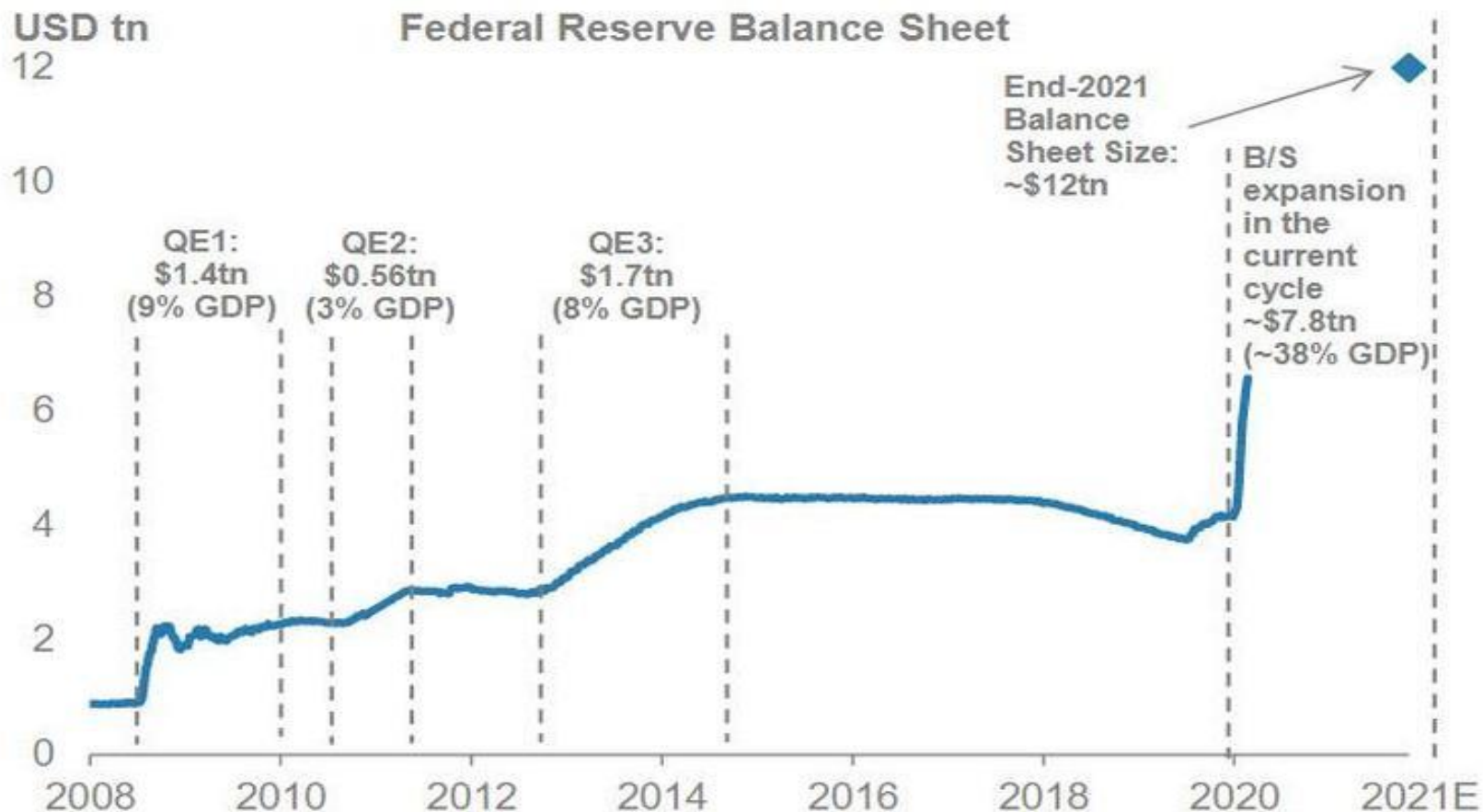
ドラッケンミラー氏は12日にエコノミック・クラブ・オブ・ニューヨークが主催したオンラインイベントで、当局の景気刺激プログラムでは世界経済が見舞われている問題は解決できないと指摘。「市場では『心配ない。米金融当局の支援がある』というのがコンセンサスのようだ」が、「唯一の問題は、われわれの分析ではそれは真実ではないということだ」と述べた。

同氏はさらに、トレーダーは「非常に潤沢な」流動性が提供され、米経済の問題を解決する上で刺激策の規模は十分大きいと考えているようだが、新型コロナウイルスによる影響は長期にわたって続く公算が大きく、経営破綻が相次ぐとの見通しも示した。「自分の見方が間違っていると願うが、V字回復は空想だと考える」と付け加えた。

ドラッケンミラー氏のこうした見方は、米国が直面する暗い見通しに関してウォール街の重鎮がこれまで発した中で最も強いものの1つだ。同国では新型コロナ感染拡大で経済が停滞、信用市場が立ち往生、史上最長の強気相場が終了したにもかかわらず、米S & P 500種株価指数は3月の安値から30%近く回復した。米金融当局による緊急プログラムや政府の経済対策などが背景だ。

連銀のバランスシートの拡大予測

Exhibit 1: Fed's balance sheet to expand by more than QE1, 2 and 3 combined in this cycle



Source: Federal Reserve Board, Federal Reserve Bank of New York, Morgan Stanley Research

出所：ゼロヘッジ

害毒をまき散らすFRB・・・

とつくに連中の影響を排除しておくべきだったのだ

「安定は不安定を招く。事態がよりしっかりと安定し、事態がより長く安定しているほど、危機が起きたとき、より不安定になるのだ」

ハイマン・ミンスキー（米国の経済学者、1919～1996年）

「安定を理想とするのは誤りだ。不安定は資本主義のドラマに必要な不可欠な部分である。景気循環の下降局面には、経済を再び清潔かつ誠実なものにする役割があるからだ。下降局面を抑えようとするとう上昇局面を押さえつけてしまうことになる」

ジム・グラント（米国の金融著述家、1946年～）（1996年発言）

「忘れてはならないのは、過去6～8年にわたり世界中の金融政策が安定論者の助言に従ってきたことである。その結果、すでに十分な害が及んでいる。とつくに連中の影響を排除しておくべきだったのだ」（1920年代半ばから30年代初めの金融政策について1932年発言）

フリードリヒ・ハイエク（オーストリア学派の経済学者、1899～1992年）

NYダウの1929年と2020年のアナログモデル (パターン分析)



出所：ゼロヘッジ

2年2か月後に底をつけるまで



<https://worldcyclesinstitute.com/weve-been-here-before/>

FAAMGとS&P500のパフォーマンス

Exhibit 2: FAAMG has outperformed YTD; the rest of the index has stagnated
as of April 30, 2020



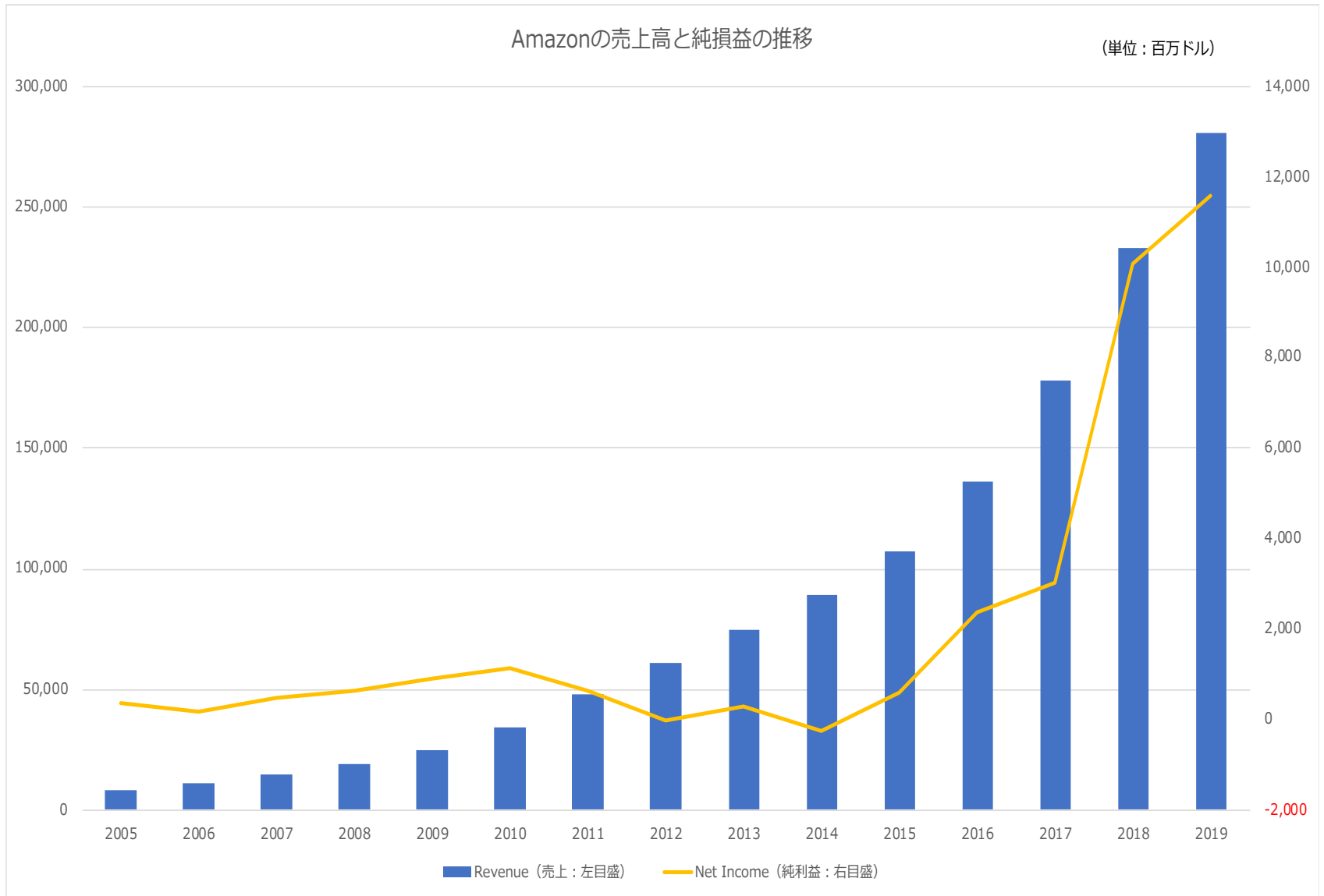
Source: FactSet, Goldman Sachs Global Investment Research

出所：ゼロヘッジ

S&P500 VS アマゾン 2020年相場



アマゾンの業績は拡大し続けている



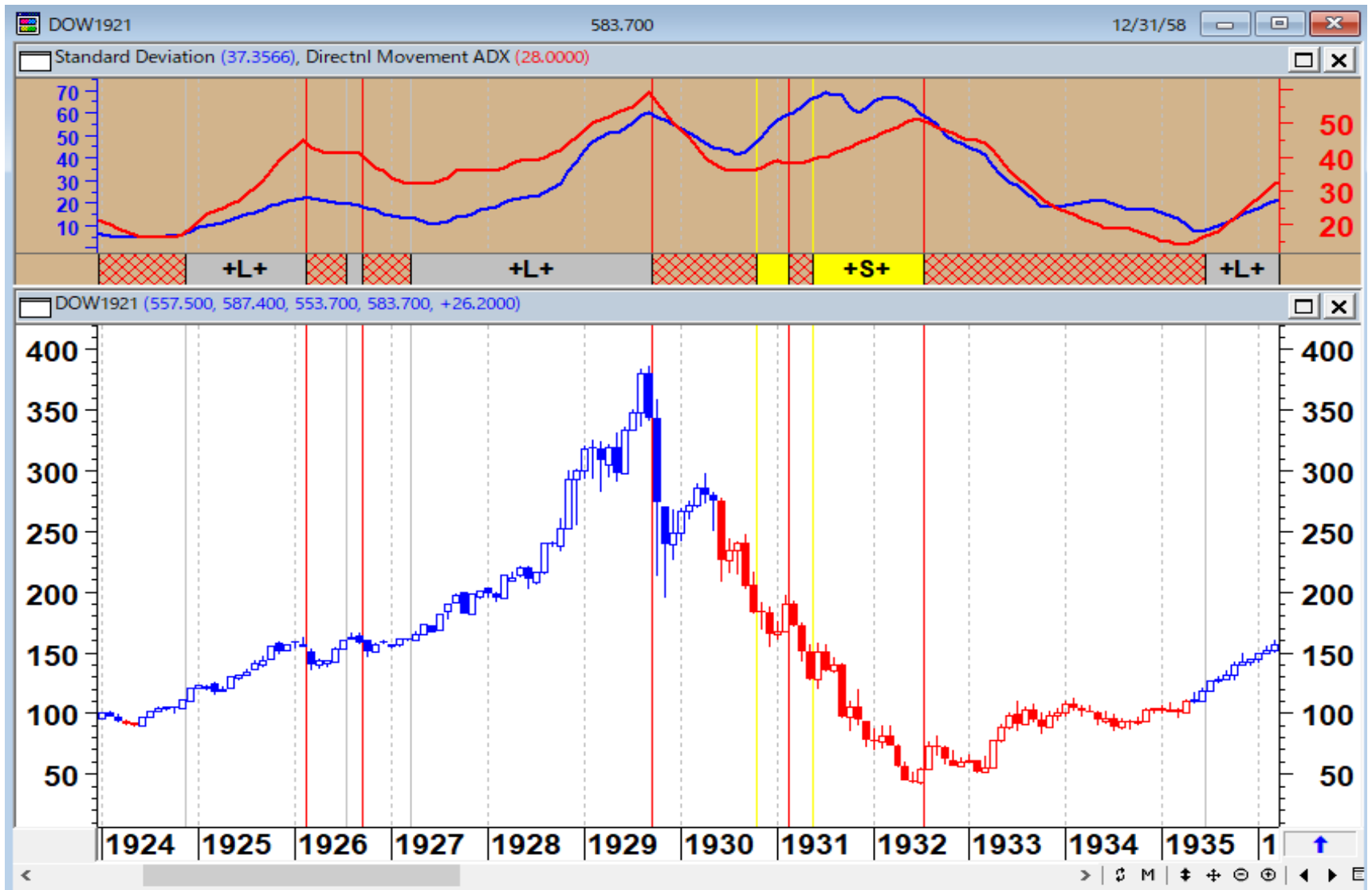
S&P500の1%に過ぎない5銘柄が、 時価総額では市場の20%を占めている

Chart 2: S&P500 now more concentrated in the 5 largest stocks than ever

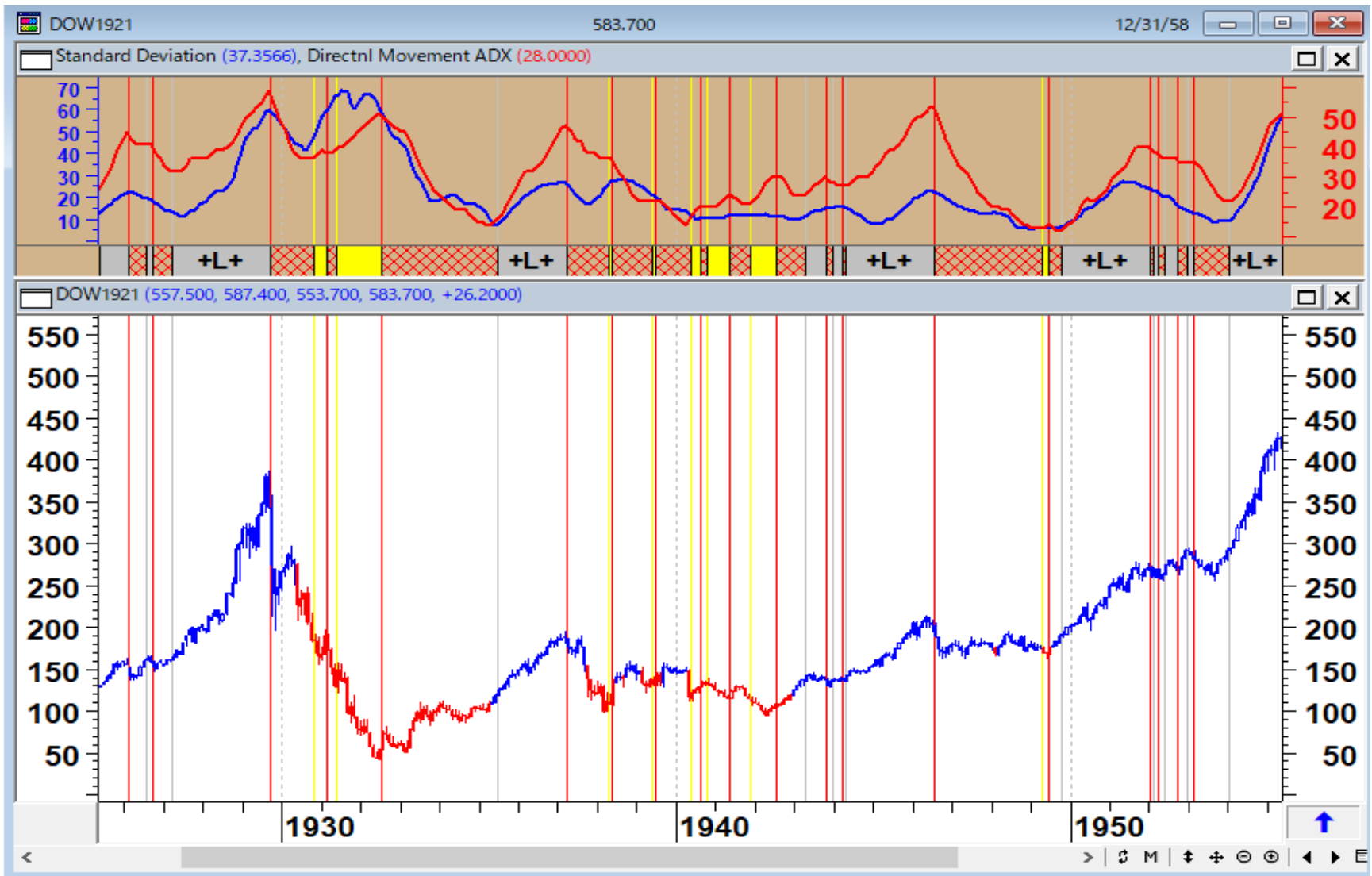


Source: BofA Global Investment Strategy, Bloomberg

NYダウ (月足) 1924年~1935年



NYダウ (月足) 1926年~1954年 長い調整・・・



景気後退期の日経平均の下落は平均29%である。

1951年以降、日本は景気後退期を15回経験しているが、景気後退期の日経平均の下落は平均29%である。今回の新型コロナウイルスのパンデミックは世界同時不況であり、普通に考えると、過去の景気後退期の平均的な下落ではすまない可能性が高い。

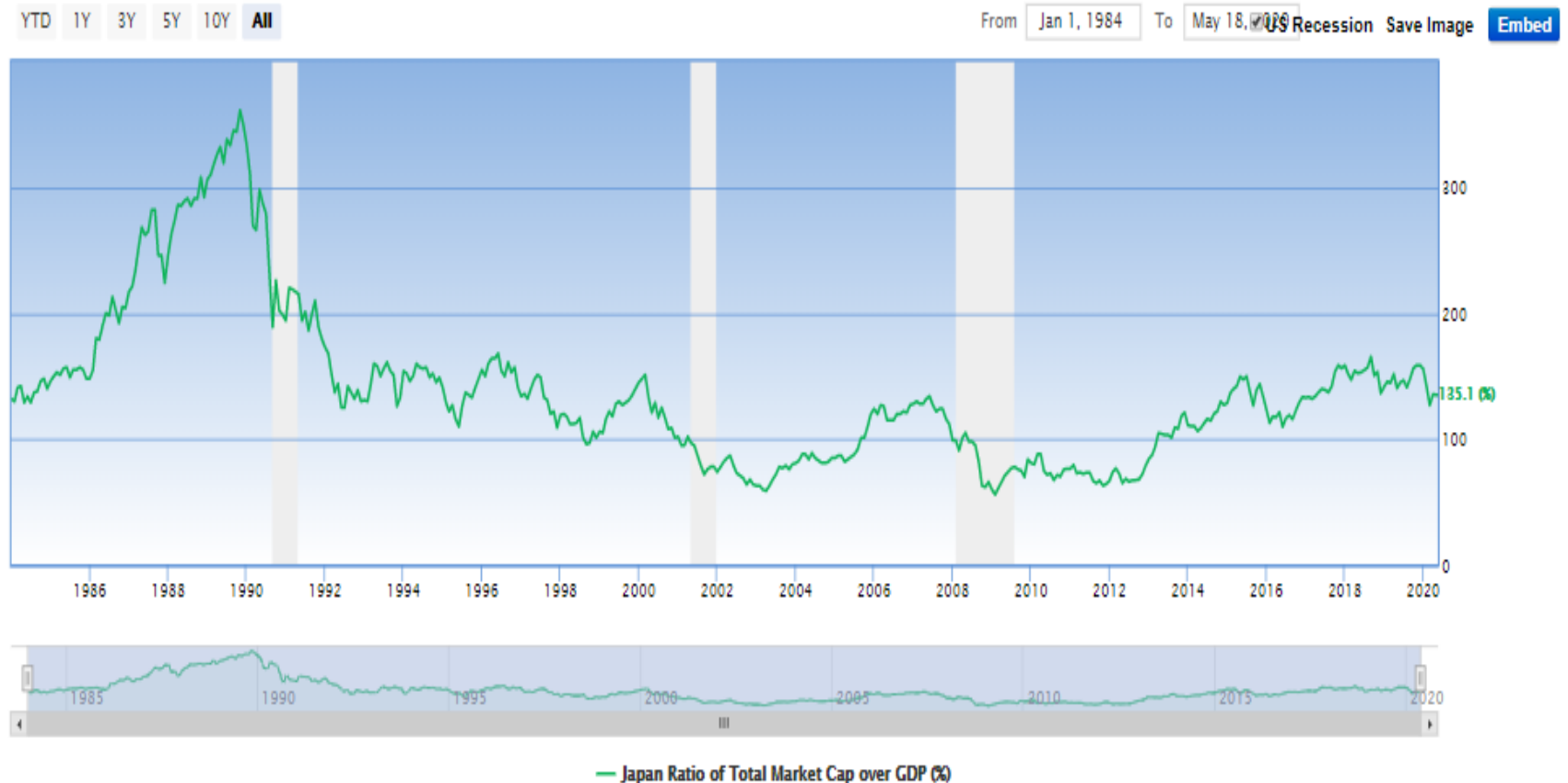
現在の相場の急落は「リーマン・ショックと似ている」とか、「衝撃はリーマン・ショック以上」と報道されているが、仮にそうならば、1万1,000円レベルまで日経平均は下げることになる。この段階では、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）の損失は50兆円、日銀のETF（上場投資信託）の含み損は13兆円に達する。

その前に、日経平均が1万3,000円になると、日銀のETFの含み損が10兆円になり、日銀は債務超過に陥る。

日本株のバフェット指標（株の時価総額 ÷ GDP） 5月18日現在**135%**

Japan Ratio of Total Market Cap over GDP

Monthly. Current data is updated daily



バフェット指標とバリューゾーン

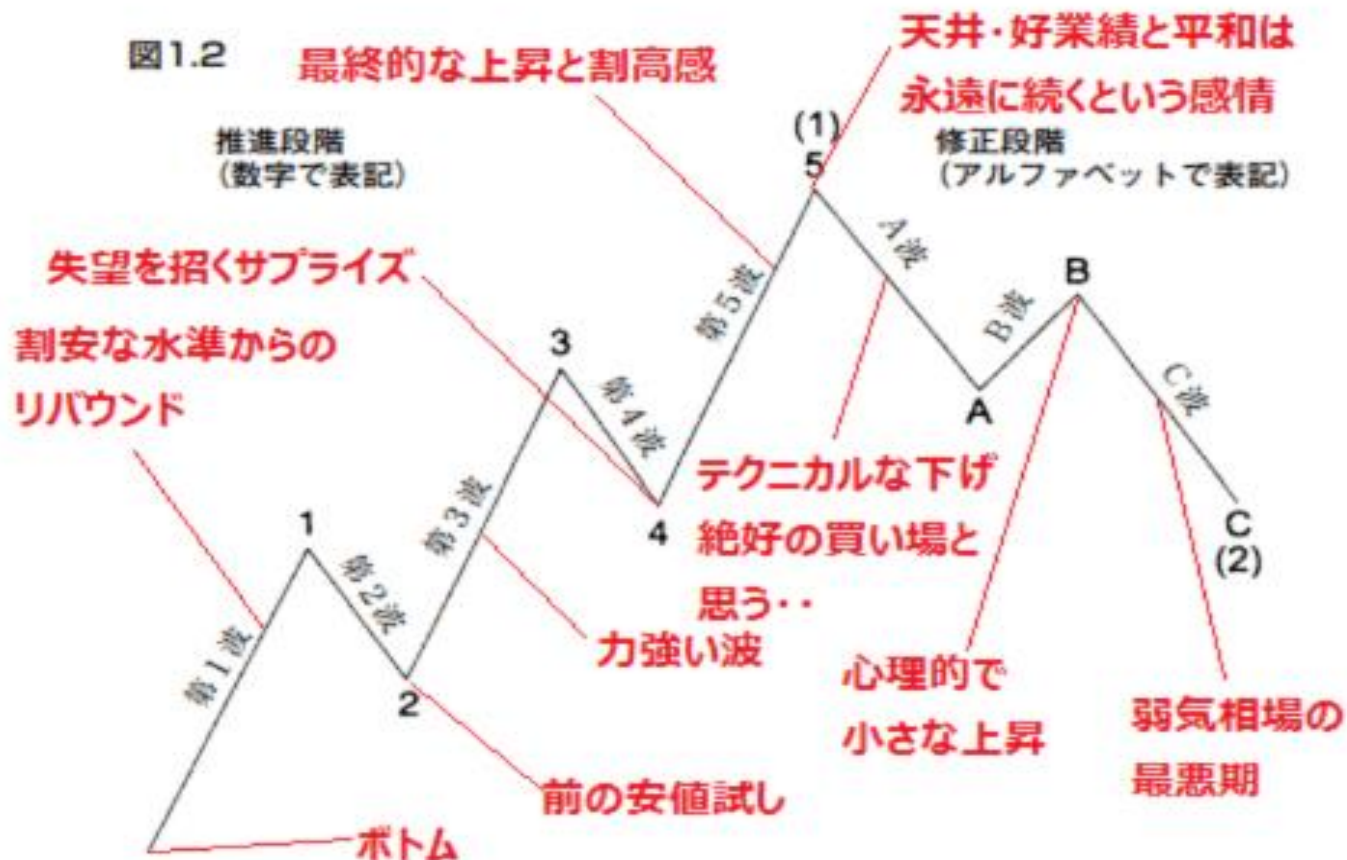
* 株が投資するに値する価値を生むのは、下のバフェット指標の黄色の帯のゾーン、70~50のレベルまで下落した時である。



出所：マーケットウォッチ

エリオット波動の基本と波の個性

エリオット波動の基本と波の個性

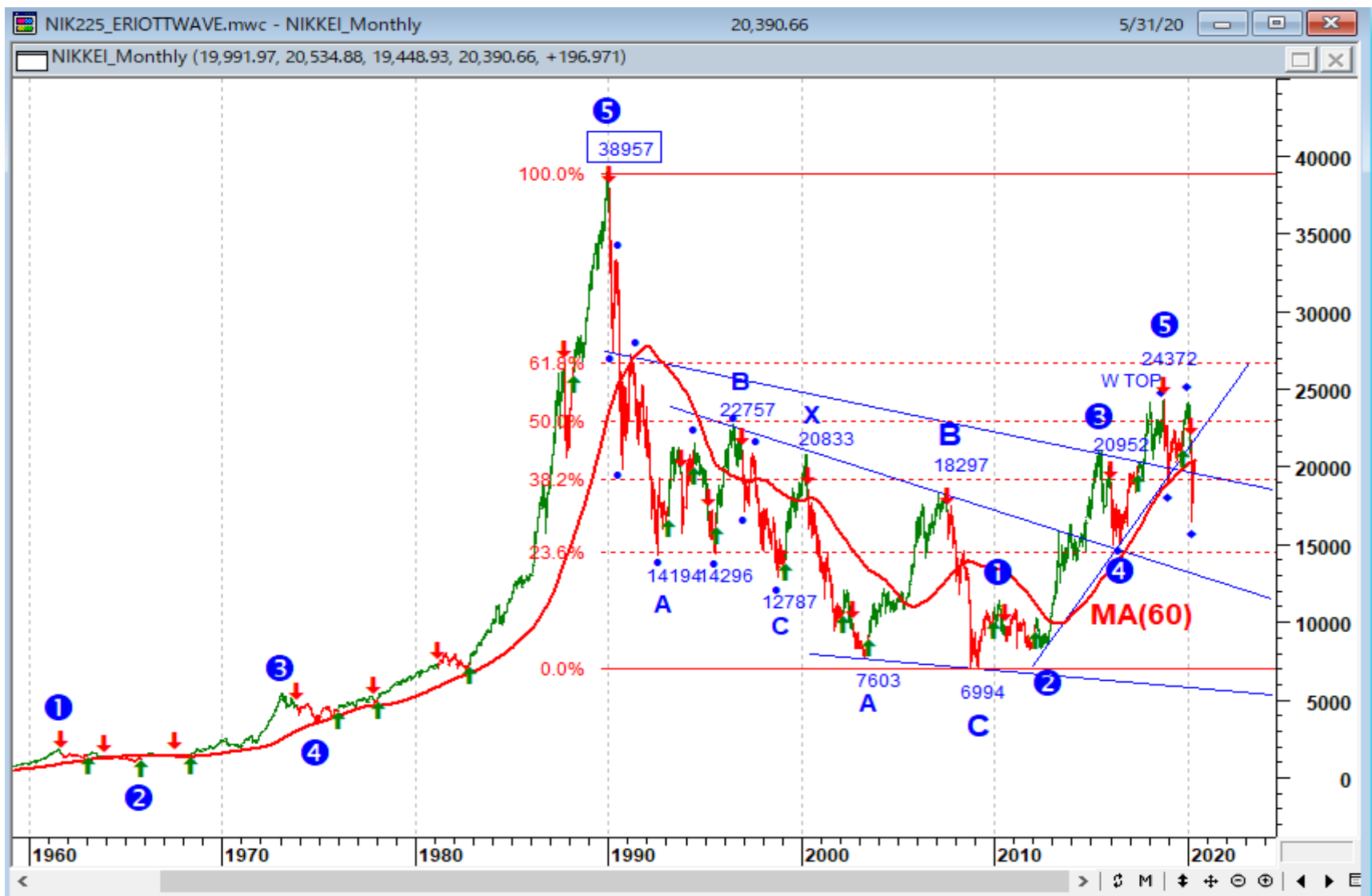


出所：『エリオット波動入門——相場の未来から投資家心理までわかる』（ロバート・ブレイク著 パンローリング）

NYダウ（週足）と波動カウント



日経平均（月足）と波動カウント



日経平均と価格維持操作による日柄調整

